

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域活性化イベント開催事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	久々野支所 基盤産業課		項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		H26計画額	8,000	千円			
	内線		目	1	観光振興費	D	その他事業							
			予算											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・久々野地域住民が主体となって、地域のさらなる活性化・発展を図るイベントを開催し、高山市内外からの誘客を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・ひだ桃源郷くぐの観光協会が事務局となり、地域住民を中心に実行委員会を構成し各イベントを開催する。(ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会、ふるさとくぐの会四季のつどい、アルコピアひまわり園、ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り、ひだ桃源郷収穫劇場、アルコピラスノーカーニバル)
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会 ・アルコピアひまわり園 ・ひだ桃源郷収穫劇場 		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとくぐの会四季のつどい ・ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り ・アルコピラスノーカーニバル 					
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	イベント開催数	回	目標値	7	6	6	6
				実績(見込)	7	6	6	
	成果指標	イベント総来場者数	人	目標値	21,000	22,000	22,000	20,000
				実績(見込)	17,706	20,707	20,000	
	算出根拠等	イベント開催数		達成率(%)	100	100	100	
				達成率(%)	84	94	91	
	算出根拠等	イベント総来場者数		目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域振興特別予算が平成26年度までであるので、段階的に自己負担率を増やし、地域が主体となって自主的に運営できるよう進めて行く。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、効果を検証しながら必要なイベントは自己負担率を増やし自主運営できるようにする。																				
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、各種イベントの自己負担率を増やし自主的に運営できるようにする。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、各種イベントの自己負担率を増やし自主的に運営できるようにする。	○	拡大	○	縮小	二次評価	維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。	○	拡大	○	縮小		廃止検討			廃止検討	
担当課評価	維持・改善	・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、各種イベントの自己負担率を増やし自主的に運営できるようにする。																			
○	拡大																				
○	縮小																				
二次評価	維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。																			
○	拡大																				
○	縮小																				
	廃止検討																				
	廃止検討																				

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	10,810	9,993	9,000	8,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	116	108	98	87
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会・ふるさとくぐの会四季のつどい・アルコピアひまわり園・ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り・ひだ桃源郷収穫劇場・アルコピラスノーカーニバル	要求のポイント	久々野地域の住民が主体となり、各種イベントを開催し地域の活性化を図る。	事業実施の課題	支所 地域振興特別予算が平成26年度までなので、段階的に自己負担率を増やし、地域で自主的に運営できるようにする。	観光課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,000	8,000	△ 1,000	8,000	8,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,000	8,000	△ 1,000	8,000	8,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (アルコピアスキー大会開催事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	久々野支所 地域振興課	内線	項	5	保健体育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	800	千円				
		3512	目	1	体育総務費	D	その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・ウインタースポーツ振興による青少年育成、シニアスキーヤー復活・獲得、アルコピアスキー場の活性化	概要	事業の実施手法(手段)	・小中学生やシニアといった幅広い年齢層を対象にし、技術性の高いスキー大会を開催する。
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・サロモン杯第30回アルコピアジュニアスキー大会(1月27日) ・HDAD杯第55回アルコピアルペンスキー大会(2月17日) ・第18回アルコピアスノーボードカップ(2月24日) 							
成果面	活動指標	大会開催数	回	目標値	3	3	3	3
		実績(見込)		3	3	3		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	大会参加者数	人	目標値	450	450	450	450
		実績(見込)		357	339	450		
	算出根拠等		達成率(%)	79	75	100		
	成果指標	地元参加者数	人	目標値	150	150	150	150
		実績(見込)		152	152	150		
	算出根拠等		達成率(%)	101	101	100		
	成果指標	市外参加者数	人	目標値	350	350	200	200
		実績(見込)		205	187	200		
	算出根拠等		達成率(%)	59	53	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大会参加者の拡大に向けた新たな展開を検討する必要がある。 ・自主運営できる財源の確保が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業に向けた財源確保(協賛金等) ・参加者の増加に向けた新たな取り組みの検討 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	スポーツ振興とスキー場の集客戦略として継続する。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 800	800	800	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 205	209	212	212
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコピアスキー大会開催経費 ジュニアスキー大会 シニアスキー大会 スノーボード大会 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の確保を図り、自主財源を確保することが課題である。 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進課 地域政策課 	<ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 今後、協働のまちづくりにより、地域(実行委員会)が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。
------	--	---------	---	---------	---	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	800	800	0	800	800		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	内線	3521	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5	医療・福祉を充実させます ・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別					款	3	民生費		○	B					
担当課	久々野支所 地域振興課				項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円			
					目	3	老人福祉費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	・明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	連合長寿会会員数		人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
		実績(見込)				9,796	9,584	9,677	
		算出根拠等			達成率(%)	93	96	97	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数		クラブ	目標値	150	143	139	138
		実績(見込)				143	139	138	
		算出根拠等			達成率(%)	95	97	99	
	活動指標	連合長寿会加入率		%	目標値	43	40	40	40
		実績(見込)				39	38	37	
		算出根拠等		連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	91	95	93	
	補足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	465	462	458
	受益者	(B)	903	910	918

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高年介護課 地域政策課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
							平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420		
財源内訳	国庫支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="checkbox"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	7	土木費		<input type="checkbox"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	項	2	道路橋りょう費	<input type="checkbox"/> C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	5,000 千円		
		3541	目	1	道路橋りょう総務費	<input type="checkbox"/> D		その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・未登記となっている5路線の市道の一部について登記業務を委託し、14筆の所有権移転及び地目変更								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	所有権移転登記完了筆数		筆	目標値	26	25	10	10
		実績(見込)			26	14	7		
		算出根拠等 分筆・所有権移転数/目標分筆・所有権移転数			達成率(%)	100	56	70	
	成果指標	所有権移転登記完了筆数		筆	目標値	345	345	345	345
		実績(見込)			146	157	164		
		算出根拠等 分筆・所有権移転数			達成率(%)	42	46	48	
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・個人名義となっている市所有の道路用地が非常に多く、現在の登記名義人の理解を得ることや、相続に関する課題等が多い。 ・各筆の境界確定のため道路用地名義人以外の関係者にも現地を立ち会って頂くことが必要であり、関係者全員の立会いについて理解を得ることが難しい。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・名義人等各関係者に粘り強く説明し理解を得、1筆でも多く登記を完了する。		
次年度の 実施方針	担 当 課 評 価	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討	・個人名義の市所有の道路がまだ非常に多いため、継続する必要がある。
	二 次 評 価	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,584	4,982	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	49	54	54	54
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施の 課題	維持課 地域 政策課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	------------------	-------------	-----------------	------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,000	0	5,000	5,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別				款	9	教育費		○	B					
担当課	久々野支所	地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,100	千円		
			3512	目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・地域ぐるみで花いっぱい運動を実施し、美しいまちづくりを推進する。 ・花いっぱい運動を通じて、地域住民のふれあいと地域コミュニティの醸成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・久々野地域全体へ花苗等を配布することにより、地域ぐるみでの花づくりを支援する。
	対象者数	3,771					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・久々野地域内の町内会へ花苗・肥料を配布 ・久々野地域内の公共施設へ花苗・肥料を配布						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	花苗配布数	株	目標値	16,176	15,994	15,000	15,000
				実績(見込)	16,176	15,994	16,014	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	107	
	活動 指 標	花づくり講習会	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果 指 標	地区花壇数	箇所	目標値	43	43	43	43
				実績(見込)	43	43	43	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果 指 標	公共施設数	箇所	目標値	7	7	7	7
				実績(見込)	7	7	7	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・同一事業の関連性の整理を行い、事業のあり方や一般予算への引き継ぎを行い、継続した助成のあり方を検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・各町内会へ花いっぱい運動の協力依頼(18町内会・7公共施設) ・申込者に花苗の配付(花苗:15,994株(5種類)、種子:12d(1種類)) ・統一に向けての本庁との協議
次年度の 実施方針	○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討
二次評価	○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討
環境美化の向上と地域コミュニティの向上により地域の絆が芽生えることから継続する。	
「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,175	1,415	1,200	1,100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	301	370	318	292
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域ぐるみで花づくりを行い、美しいまちづくりを進めるための花苗等の購入	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・地域の自主的な花づくり活動を支援するために継続する必要がある。	市民活動 推進課 地域 政策課	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。 今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である。
------	--------------------------------------	-------------	-----------------	----------------------------------	--------------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,200	1,100	△100	1,100	1,100		
財 源 内 訳	国庫支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,200	1,100	△100	1,100	1,100		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	久々野校区文化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上を確保する。
種別				款	9	教育費		○	B					
担当課		久々野支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,000 千円			
			3512	目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・優れた芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした芸術文化の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・質の高い芸術文化の鑑賞など、地域が主体となって取り組めるよう支援する。 ・事業を継続的に実施し、地域住民への浸透を図り、文化活動の向上につなげる。
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・桃源郷寄席「林家たい平独演会」(7月24日) ・石原駒子ふれあいコンサート(11月21日) ・文化展、芸能展(11月2日～4日) ・ふなやま川柳大会(8月15日) 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	事業実施回数	回	目標値	10	10	10	10
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	11	10	9	
			達成率(%)	110	100	90	
成果指標	全事業の来場者数	人	目標値	7,900	5,350	4,600	4,600
	算出根拠等		実績(見込)	6,010	4,746	4,600	
成果指標			達成率(%)	76	89	100	
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・生涯学習意欲の向上のために、あらゆる機会の提供と鑑賞による文化振興への意識が高まっている。						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域の自主事業としての事業展開と財源確保により、引き続きの事業実施が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・自主事業として、財源的にも自主財源の確保を図るよう進めている。	
次年度の実施方針	○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討	・地域の文化振興の向上による文化芸術に対する住民の生きがいづくりと交流の場の創出につながるので継続する。
	○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,000	2,500	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	768	654	530
	受益者	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・久々野地区社教開催の桃源郷寄席やふれあいコンサート及び文化展の運営補助	要求のポイント	・自主財源を確保しつつ、地域住民の生涯学習意欲を低下させないように支援していく必要がある。	事業実施の課題	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	生涯学習課 地域政策課	・平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	--------------------------------------	---------	---	---------	---	----------------	------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,000	0	2,000	2,000	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	
種別			款	9	教育費		○	B				一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	久々野支所 地域振興課		項	5	保健体育費			C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線			3512	目	1		体育総務費					D
								H26計画額	300 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・いつでも、どこでも、だれでもが気軽にスポーツに親しめるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・ソフトボール大会、バレーボール大会、野球大会、スポーツフェスティバル、卓球大会、剣道大会、スキー大会
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 町民ソフトボール大会(6月3日) 町民バレーボール大会(7月22日) ふれあいソフトミニバレーボール大会(10月24日) 町民剣道大会(11月3日) 町民スキー大会(3月3日) 黒獅子旗野球大会(6月上旬) 町民対抗野球大会(8月20日) スポーツフェスティバル(11月3日) 町民卓球大会(12月16日) 町民スキー教室(1月12日～14日) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	スポーツイベント開催回数	回	目標値	13	13	13	10
				実績(見込)	10	10	10	
				算出根拠等	達成率(%)	77	77	77
	成果指標	スポーツイベント参加者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800
				実績(見込)	2,104	2,007	1,800	
				算出根拠等	達成率(%)	117	112	100
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域の自主事業としての事業展開と財源確保により、引き続き事業実施が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・自主事業として、財源的にも自主財源の確保を図るよう進めている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・スポーツを行うことによる体力の維持向上と地域コミュニティの活性化につながり、地域住民の交流の場にもつながることから継続する。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	350	350	300
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	90	92	80
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・久々野地域内での各種スポーツ大会の運営助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・自主財源を確保しつつ、地域住民のスポーツ意欲を低下させないように支援する必要がある。	スポーツ推進課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。今後、協働のまちづくりにより、各地区社教等が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	300	300	0	300	300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53199	地域生活道路環境保全事業(林道分)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎次代につながる農業を実現します ・農業生産額250億円目指します。
種別			款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 基盤産業課		項	3	林業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3531		目	1	林業総務費		○	その他事業				
										H26計画額	1,000 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・地域間を結ぶふるさと林道は地域住民の重要な道路となっており、交通安全上道路幅を確保するため除草を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ清掃草刈り業務を委託する。
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・実施路線(舟山～牛牧線・阿多粕～西洞線他)						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		林道除草施工延長	m	目標値		25,157	29,764	29,764
	算出根拠等	実施済施行延長		実績(見込)		25,157	29,764	
				達成率(%)		100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・安全な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	農道や市道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため継続は必要である。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	920	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		241	265
	受益者	久々野地域住民 (B)	0	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域間を結ぶ幹線林道の路肩の草刈り、清掃業務を行う。	要求のポイント	路肩の草刈り、清掃を実施することにより、安全で快適な林道環境を確保する。	事業実施の課題	幹線林道以外の林道については、地域や林業者の自主的な維持管理をお願いしているが、高齢化などにより継続が危ぶまれる状況であり、検討が必要である。	林務課	平成27年度以降の取扱いのとおり調整する。(一般予算化)
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	位山舟山自然公園環境整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 基盤産業課		内線	2	観光費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
		3531	目	3	自然公園費		D	その他事業	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・位山、あららぎ湖、船山を一体とする自然公園を整備し、市民や観光客などが活用できるものとする。	概要	事業の実施手法(手段)	・船山及びあららぎ湖登山道整備(草刈り・木橋・案内看板修繕等)
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・船山山頂花木園整備(草刈り)／花木園管理棟解体／花木園施設修繕(看板設置等) ・あららぎ湖展望位山登山道整備／登山道案内看板設置 ・アルコピアスキー場安全ネット等撤去							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	登山道整備(草刈り)延長	m	目標値		3,100	9,100	14,200
				実績(見込)		3,100	14,200	
	算出根拠等	草刈り済延長		達成率(%)	100	156		
	成果指標	登山者数	人	目標値		150	150	200
				実績(見込)		150	150	
	算出根拠等	登山者数		達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・登山道は毎年の整備が必要となるため、事業継続に努める必要がある。
--------------------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・快適な登山を楽しんでいただくため、整備に努める。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・登山道は毎年の整備が必要となるため、事業継続に努める必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
○ 維持・改善	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。	
□ 拡大		
□ 縮小		
□ 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	13,349	3,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		144	33	11
	受益者	全市民	(B)	0	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	遊歩道、登山道の草刈り、補修	要求のポイント	遊歩道、登山道の草刈り、補修を行うことにより、安全で快適な環境を整備し、市民や観光客の利用増を図る。	事業実施の課題	遊歩道、登山道の適切な維持管理のため、毎年継続して実施することが必要である。	環境政策推進課	市全体でのバランスを考慮し、登山道整備の方針について検討する必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,000	1,000	△ 2,000	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	3,000	1,000	△ 2,000	1,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	公有財産購入事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 地域振興課	内線 3511	予算	項	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円
				目	8	財産管理費		D	その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・基金の適正管理	概要	事業の実施手法(手段)	・土地開発基金保有地の買戻し。
対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	16,600	17,769
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			4,402	4,712
	受益者	久々野地域住民	(B)	0	0	3,771	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地開発基金保有土地(特別養護老人ホーム用地)の買戻し	要求のポイント		事業実施の課題	・合併前に基金で取得した用地の買戻しが必要である。	管財課 地域政策課	土地開発基金保有地については計画的な買戻しが必要である。
------	------------------------------	---------	--	---------	---------------------------	--------------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,600	17,769	1,169	17,800	17,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	16,600	17,769	1,169	17,800	17,800		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道分)	内線	3531	特別 予算の 位置 付け	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	3	産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します ◎次代につながる農業を実現します ・農業生産額250億円を目指します。
	5					農林水産業費	B							
担当課	久々野支所 基盤産業課			1	4	4	農業土木費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500 千円			
	1	農業土木総務費	D			その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・広域営農団地農道は、飛騨農林事務所より管理移管を受け、高山市が管理することになっている。交通安全上片側一車線の道路幅を確保しなければならないため農道の除草をする。	概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ草刈り清掃業務を委託する。(広域営農団地農道 11.473m)
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・広域営農団地 大坊～有道 草刈り清掃区間 11.473m								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	農道除草延長		m	目標値	11,473	11,473	11,473	11,473
		実績(見込)			11,473	11,473	11,473		
	算出根拠等	実施済除草えん長		達成率(%)	100	100	100		
				目標値					
				実績(見込)					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
		算出根拠等		達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
		目標値							
			実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)						
補足									

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・安全な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・林道や市道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため継続は必要である。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	439	420	500
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	112	110	133
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	広域営農団地農道の路肩の草刈り、清掃業務を行う。	要求のポイント	路肩の草刈り、清掃を実施することにより、安全で快適な農道環境を確保する。	事業実施の課題	・幹線農道以外は、地域や営農者の自主的な維持管理をお願いしているが、高齢化などにより継続が危ぶまれる状況であり、検討が必要である。	農務課	農道については、地域や営農者による自主管理を求めているが、不特定多数の利用がある幹線農道については物流経路、安全確保のためにも事業継続の必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	500	0	500	500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	道の駅整備事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
種別				款	6	商工課		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	3533	項	1	商工費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,570 千円	
				目	1	商工振興費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・老朽化し危険な状態にある道の駅「飛騨街道なごぎ」のシンボルタワー(展望やぐら)を解体し、利用者の安全を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・展望やぐら解体撤去工事
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・H26新規事業							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	道の駅利用者数	人	目標値			210,000	210,000
				実績(見込)	206,353	201,562		
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	成果指標			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	成果指標			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
成果指標			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
補足			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	0	0	2,570
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			682
	受益者	久々野地域住民 (B)	0	0	0

5 予算編成(Action2)

事業内容	・展望やぐら解体撤去 1式	要求のポイント	・老朽化した展望やぐらを解体撤去し、利用者の安全を図る。	事業実施の課題	・道の駅を久々野地域の産業の拠点として位置づけ、地域振興を図ることができるよう検討する必要がある。	商工課 地域政策課	・利用者の安全確保を最優先とすべきである。
------	---------------	---------	------------------------------	---------	---	--------------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			2,570	2,570	2,000	2,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		2,570	2,570	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業(市道分)	内線	3541	特別 予算の 位置 付け	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。	
	7					土木費	B								一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	久々野支所 基盤産業課				2	2	道路橋りょう費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,000	千円			
	2	道路橋りょう維持費	D	その他事業											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・久々野地域の町内会と町内会を結ぶ市道について、地域住民に草刈りをお願いしているが施工延長が長く、地元町内会ではなかなか出来ない現状である。交通事故防止や景観保全のため草刈り清掃を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ草刈り清掃業務を委託する。(市道平野線他5路線 L=13,340m A=32,000㎡)
対象者数	3,771人						

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・市道平野線他5路線 L=13,340m A=32,000㎡						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		市道除草延長	m	目標値	13,340	13,340	13,340	13,340
	算出根拠等	実施済除草延長	実績(見込)	13,340	13,340	13,340		
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100			
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
	算出根拠等	達成率(%)						
		目標値						
	算出根拠等	実績(見込)						
		達成率(%)						
	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等	達成率(%)							
	目標値							
算出根拠等	実績(見込)							
	達成率(%)							
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・安全で快適な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり、今後も引き続き事業継続に努める必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・林道や農道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため、継続は必要である。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	512	820	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	131	215	265
	受益者	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道沿線の草刈清掃	要求のポイント	事業実施の課題	維持課	地域政策課
			支所	地域で行われてきた草刈作業が実施されない状況となっているため、今後除草延長が増加する恐れがある。	地域間を結ぶ市道であり、距離も長いので地域住民だけでは対応できない。市道の交通安全や景観保全のための業務を委託する。
					平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72399	市道改良事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。
種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	項	2	道路橋りょう費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円	
		3541	目	3	道路新設改良費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・地域間の連絡道路を整備する。	概要	事業の実施手法(手段)	・コスト縮減を踏まえた道路改良をする。(道路改良L=92.0m W=3.0m)
対象者数	3,771人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市道西洞3号線 舗装 L=337m A=1,180㎡							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・現在7割程度の進捗であるが、交通量は微増であるため、計画区間の早期完成が必要となる。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・計画区間を速やかに実施する。	
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
二次評価		維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,255	4,935	4,000	12,500
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	834	1,291	1,061	3,315
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・道路改良	要求のポイント	・生活道路の充実	事業実施の課題	支所	建設課	・施工手法の検討を行い、さらなるコスト縮減に努める。
						地域政策課	

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	12,500	8,500	12,500	12,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,000	12,500	8,500	12,500	12,500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	ふるさと名人継承事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上を確保する。
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所	地域振興課	内線	3512	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	220 千円		
			目	6	文化振興費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・「小屋名しようけ」「有道しゃくし」の技術の普及と後継者の育成を行い、後世に引き継いでいく。	概要	事業の実施手法(手段)	・講習会を実施する。(10回)
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・「小屋名しようけ」:10月から3月までに10回の講習会を開催 ・「有道しゃくし」:10月から3月までに10回の講習会を開催							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	受講申込者数(小屋名しようけ)	人	目標値	20	20	20	20
				実績(見込)	24	24	18	
	算出根拠等			達成率(%)	120	120	90	
	活動指標	受講申込者数(有道しゃくし)	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	7	7	7	
	算出根拠等			達成率(%)	70	70	70	
	活動指標	継続受講申込者数	人	目標値	15	15	15	15
				実績(見込)	11	8	15	
	算出根拠等			達成率(%)	73	53	100	
	成果指標	新規受講申込者数	人	目標値	15	15	15	15
				実績(見込)	20	18	10	
算出根拠等			達成率(%)	133	120	67		
成果指標	修了証交付者数(小屋名しようけ)	人	目標値	15	15	15	15	
			実績(見込)	14	11	18		
算出根拠等			達成率(%)	93	73	120		
成果指標	修了証交付者数(有道しゃくし)	人	目標値	8	8	8	8	
			実績(見込)	5	6	7		
算出根拠等			達成率(%)	63	75	88		
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・保存会の自主的な活動に向けた方向性が必要である。
--------------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・技術伝承者を保存会に加入してもらうために、優秀な伝承者の掘り起こしと加入の意思確認などのためのアンケートを実施するなどして保存会との協議を行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・伝統技術の継承は、先代の知恵と技術を受け継ぎ、後世に引き渡す使命であり、更には、郷土への愛着を持ち続けることができるものであることから重要な事であるので継続する。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	167	165	220
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	43	43	58
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・「小屋名しようけ」「有道しゃくし」の講習会開催(各コース10回開催)	要求のポイント	事業実施の課題	生涯学習課 地域政策課	・現在飛驒の匠認証制度等の創設に向けた取組みがなされている。 ・今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。
------	-------------------------------------	---------	---------	----------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	220	220	0	220	220	要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	220	220	0	220	220		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	課			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 地域振興課	内線	予算	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	6,500 千円		
				3511	9		企画費	D				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民が自分たちの地域を自分たちの手でより良くしていく活動に対し支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域の人材や労力を活用し、助言や経費などを支援することにより、生活環境などを整備する。
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業 22団体 ・特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業 16団体							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	申請数	件	目標値	40	40	40	40	
		実績(見込)	31	38	38				
	成果 指標	算出根拠等	申請数	達成率(%)	78	95	95		
		補助件数	件	目標値	40	40	40	40	
	成果 指標	実績(見込)	31	38	38				
		算出根拠等	補助実績数	達成率(%)	78	95	95		
	補 足	算出根拠等	補助金交付率	%	目標値	95	95	95	95
			実績(見込)	88	84	95			
	算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	予算執行額/予算額	達成率(%)	92	89	100	
目標値									
算出根拠等	算出根拠等	実績(見込)							
		達成率(%)							
算出根拠等	算出根拠等	目標値							
		実績(見込)							
算出根拠等	算出根拠等	達成率(%)							
		目標値							
算出根拠等	算出根拠等	実績(見込)							
		達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・市民が安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業を支援することは、地域社会活動を育成するため に必要である。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」については、12団体が実施中。 ・「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」については、5団体が実施中。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市民が安心して暮らせる地域を守るため引き続き、「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」及び、「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」を継続する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,147	6,326	7,500	6,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,574	1,655	1,989	1,724
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	地域 政策 課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である
------	---------------------------------------	-------------	---------------------	--------	---------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,500	6,500	△ 1,000	6,500	6,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,500	6,500	△ 1,000	6,500	6,500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	9,302 千円		
				目	9	企画費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか(意図)	・地域の要望に対して早急に対応を行い地域の環境整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・地域の要望により市道や農道、水路等の軽微な修繕を実施。
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市道修繕(16件)、河川修繕(1件)、公共施設修繕(4件)、市道倒木除去(1件)、排水路修繕(2件)、消防水利修繕(1件)								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	要望事項受付数		件	目標値	20	20	20	20
		実績(見込)				20	25	20	
		算出根拠等 要望事項受付数/要望事項受付目標数			達成率(%)	100	125	100	
	成果 指標	要望事項実施数		件	目標値	20	20	20	20
		実績(見込)				20	25	20	
		算出根拠等 実施数/要望事項実施目標数			達成率(%)	100	125	100	
	成果 面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
			目標値						
実績(見込)									
算出根拠等			達成率(%)						
補足	・地域住民からの要望を精査し関係課と協議し予算執行できるよう調整している。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・町内からの要望書をとりとまとめ、現地調査により実施箇所を検討した上で事業実施している。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,481	7,890	7,100	9,302
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,940	2,064	1,883	2,467
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-----------------	--------	---------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,100	9,302	2,202	9,900	9,900	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	7,100	9,302	2,202	9,900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料			会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約		
	種別			款				○	B			一般予算の上乗せとして実施されている事業	
担当課	久々野支所 地域振興課			項				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			H26計画額	5,299 千円
	内線	3511		目				D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・久々野地域の公共施設維持のための土地の借上げ	概要	事業の実施 手法(手段)	・久々野地域の公共施設を維持運営するため、旧久々野町時代から民間から借り上げている土地の中で高山市の借上げ基準を上回る物件 についての借上げ
	対象者数	3,771 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> ・アルコピアスキー場土地 ・駅前輪場 ・堂之上遺跡看板用地 ・久々野診療所及び久々野東部診療所 						
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	高山市土地借上げ基準達成件数		件	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	0	0	0	
		算出根拠等		達成率(%)	0	0	0	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づくよう交渉していく。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づくよう交渉していく。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・公共施設として地域住民が利用しており、維持運営するための土地借上料は必要である。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,295	5,273	5,299	5,299
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,356	1,380	1,405	1,405
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・土地借上料	要求 の ポ イ ン ト	・公共施設の維持運営に必要な土地借上料	事業 実 施 の 課 題	支 所	・高山市の借上げ基準となるよう土地所有者と交渉する必要がある。	地 域 政 策 課	施設の継続的運営のため、市基準での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続 する必要がある。 基準内の借地料となるよう交渉が必要である。
----------	--------	-----------------------------	---------------------	-----------------------------	--------	---------------------------------	-----------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,299	5,299	0	5,299	5,299	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,299	5,299	0	5,299	5,299		